

ジャストフレア

「溶接」を必要としない
ジャストフレア工法

ジャストフレアは 溶接を使わずに鋼管の管端部分を直接ツバ出しができる加工機 です。



JF-350



環境・健康阻害要因を大幅低減

強度と耐震性に優れた接合性能

特長

- 配管用鋼管の管端を外側に90度に折り返す、フレア加工機械(つば出し成形)です。
- JF-350型は口径350Aまで加工が可能です。
- 炭素鋼鋼管、ステンレス鋼管、圧力配管用鋼管の加工が可能です。
- ボタンのみの簡単操作なので、特殊技能や熟練工は不要です。
- 安定して高品質なつば出し加工が可能です。

適合

- 日本水道鋼管協会WSP071-2009
『管端つば出し鋼管継手加工・接合基準』
- 日本ステンレス協会SAS363-2005
『管端つば出しステンレス鋼管継手』
- 日本国土交通省 平成22年度版
公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)

仕様

【重量】

本体 1,880kg
クランプチャック収納時 約2,130kg

【電源条件】

三相 200V 9.7kw
40A以上の単独ブレーカー(発電機の場合は16kw以上)

【加工能力】

SGP 50A※1~300A※2
STPG 50A※1~200A
ステン S/10 50A※1~350A

※1 クランプチャック50A(オプション)が必要です。

※2 仕様追加調整(オプション)が必要です。

受け台もレンタル可能！



◀溶接用
パイプスタンド



◀ステンレス製
ボール受け



ツバを持つことで安全に
調整作業が行えます

脚は折り畳み式で
持ち運びに便利です

▲ボール受け対応ヘッド
▲安定した堅牢スタンド